

「固定電話」の今後について

概要

- 固定電話のコアネットワークをPSTN*からIP網に移行するにあたって、現行のIP網では提供していない機能・サービスの扱い等について、以下の観点で踏まえて、2010年11月に『PSTNのマイグレーションについて～概括的展望～』を公表しました。

<概括的展望の要旨>

- IP系サービスへの需要のシフトおよびPSTN交換機の寿命等を勘案し、2020年頃から、PSTNからIP網への移行を開始し、2025年頃に完了を想定。
- PSTNからIP網への移行にあたり、一部提供を終了するサービスがある。2010年11月においてその内容を公表し、お客さまへの十分な周知期間を取ったうえで、お客さま対応を実施。
- 現在PSTN交換機を介して接続しているIP電話のIP網同士の接続の実現等に向け、多数の関係事業者間で意識合わせを行うことを提案。

- また、2015年11月に固定電話を維持するための見直しとして、『「固定電話」の今後について』を公表しました。

<公表要旨>

- 現在ご利用いただいている「固定電話」を逐次IP網へ移行することにより維持
 - ・基本的な音声サービスはご利用可能
(基本的な通話に加え、ISDNの通話モード、キャッチホン、ナンバーディスプレイ、公衆電話等)
 - ・お客さま宅での工事は不要で電話機等はそのままご利用可能
 - ・基本料は可能な限り現状と同等の水準を維持(既存のメタルケーブルを継続利用)
 - ・通話料は距離に依存しないIP網の特性を活かし、よりお使いやすい料金へ(ひかり電話と同様に全国一律のフラットな料金へ)
 - ・2025年頃に中継/信号交換機が維持限界を迎える中、IP網への移行時期については、関係事業者との対応を踏まえて別途公表

- その上で、音声通信市場が縮小していく中、IP網へ移行後も引き続き固定電話をご利用されるお客さまのために、いかにそれを維持していくかという点を考慮し、IP網の特性を活かし、できる限りお客さまにご負担をおかけしないよう、最小限の追加コストで「固定電話」の受け皿となるメタルIP電話を提供していく必要があるとの考えの下、メタルIP電話の料金・提供条件、IP網への具体的な移行工程・スケジュール、移行に伴い終了予定のサービス・機能の扱い等について、現時点の考えを表明

*PSTN [公衆電話交換網: Public Switched Telephone Network]

メタルIP電話の料金・提供条件(基本料)

- IP網への移行後も、既存のメタルケーブルを継続利用する考えであり、市場環境が著しく変化しない限り、メタルIP電話の基本料は、現在の加入電話・INSネットの基本料と同額とする考え。
(級局別/事住別の料金体系は維持)

現状			IP網への移行後		
固定電話			メタルIP電話		
(月額)			(月額)		
		事務用	住宅用	事務用	住宅用
加入電話*	3級局	2,750円	1,870円	加入電話相当	現状と同額
	2級局	2,585円	1,705円		
	1級局	2,530円	1,595円		
INSネット64	3,883円	3,058円	INSネット64相当		

*ダイヤル回線用の場合

メタルIP電話の料金・提供条件(通話料)

- メタルIP電話の通話料は、距離に依存しないIP網の特性*を活かし、全国一律3分9.35円とする考え。
- 国際通話は、ひかり電話と同様にNTT東日本が提供予定(国内通話を含め、「00XY」をダイヤルする事業者選択は引き続き可能)。
*交換機よりも安価なIPルータ等で構成。距離にほとんど依存しないフラットなネットワーク構成。

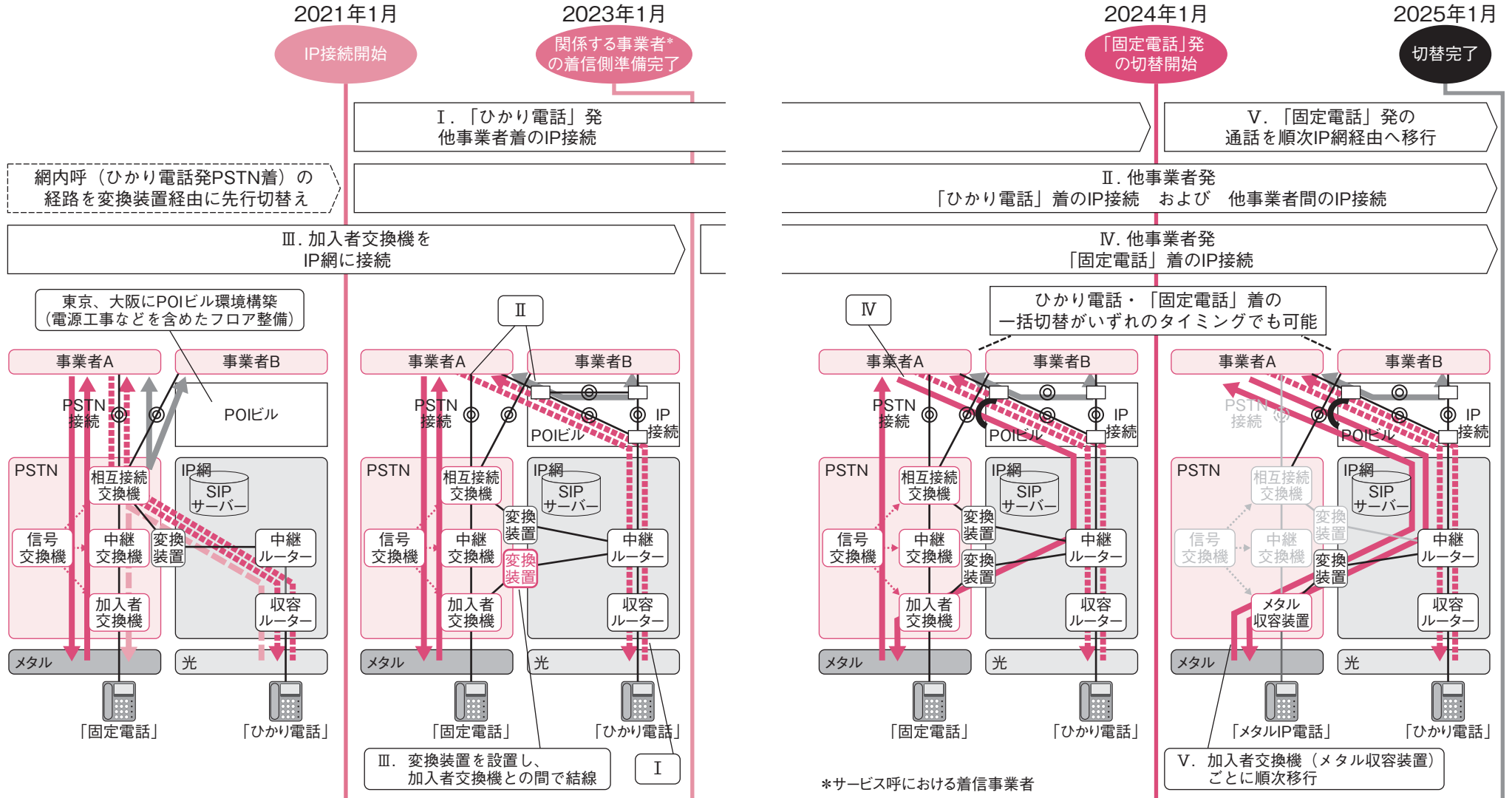
現状		IP網への移行後	
通話料*		通話料	
距離段階	<>は3分間通話した場合の料金	全国一律 9.35円/3分	
区域内	9.35円/3分<9.35円>		
隣接・~20kmまで	11円/90秒<22円>		
20kmを超え60kmまで	11円/60秒<33円>		
60kmを超え	11円/45秒<44円>		
県間通話	提供していない	提供 (料金は検討中)	
国際通話	提供していない		

*昼間の場合

PSTNからIP網への移行スケジュールについて

- 2025年頃にPSTNの信号交換機、相互接続交換機、中継交換機が寿命を迎えることから、2021年1月よりIP接続を開始。
- 「固定電話」発信の通話のIP網経由への切替（下図、工程V）は、確実に2025年1月までに切替完了させるため、1年前の2024年1月より開始。
- 工程Vの開始時に、加入電話・INSネットからメタルIP電話へ一斉に契約を移行し、新たな料金を適用することを検討。

- 現在の加入者交換機は、お客さまを収容しながらIP網への収容装置として継続利用。
- NTT網と他事業者との接続については、現在の相互接続交換機を介した接続から、IP網同士の直接接続へ移行。
移行にあたっては、当該事業者と連携することにより、お客さまにご迷惑をおかけしないよう実施。



IP網への移行におけるサービスの扱い

- PSTNで提供している基本的なサービスについては、IP網への移行後においても、IP網で提供を継続していく考えです。
- IP網での提供が困難なサービスやお客さまのご利用の減少が見込まれるサービスについては、IP網への移行に合わせて2024年初頭に提供を終了する考えですが、必要に応じて、IPベースでの代替サービスの提案・開発を行うとともに、責任を持ってお客さま対応を実施していきます。
- その際、お客さまの端末交換やシステム更改が必要となる場合がありますが、極力お客さまの負担増にならないように、お客さまの端末の更改時期に合わせて取替えていただけるよう、十分な期間をとって対応していきたいと考えています。

提供を継続するサービス	基本的な音声サービスのほか、INS ネット（音声通話のみ）、公衆電話、110（警察）、118（海上保安）、119（消防）、117（時報）、177（天気予報）、104（番号案内）、115（電報）、ナンバー・ディスプレイ、ナンバー・リクエスト、迷惑電話おことわりサービス、キャッチホン、ボイスワープ、ボイスワープセレクト、フリーアクセス、#ダイヤル、代表、ダイヤルイン、ピンク電話 等
提供終了するサービス	INS ネット（デジタル通信モード）、ビル電話、着信用電話、支店代行電話、有線放送電話接続電話、短縮ダイヤル、キャッチホン・ディスプレイ、ナンバー・アナウンス、でんわばん、トーキー案内、発着信専用、ノーリング通信 等